授業科目	教育実習Ⅰ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	通年
担当教員	一期﨑　直美、木村　政伸						
授業概要	教育実習を通して教育者として必要な態度を養い、看護課程における教科の指導力を実践し改善していく学びの機会となることを意図している。具体的にはこれまで履修した教職科目及び専門科目等の知識及び理論と結び付けながら、教職の実践的技能の向上を目指す。						
授業形態	実習			授業方法	実習		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．履修してきた教職科目及び専門科目等の知識及び理論に基づいて、授業を展開できる。 2．実習校の教師及び生徒との交流を通して、望ましい教師の資質及び能力の向上を図ることができる。 3．教育における研究課題を発見し、課題解決に向けた取り組みについて考えることができる。
理想的レベル	1．履修してきた教職科目及び専門科目等の知識及び理論に基づいて、生徒が主体的・対話的で深い学び考慮した授業を展開できる。 2．実習校の教師及び生徒との交流を通して、積極的に望ましい教師の資質及び能力の向上を図ることができる。 3．教育における研究課題を発見し、課題解決に向けた取り組みについて具体的に考え解決を図ることができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	15%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	85%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU44118J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
実習校との打合せ。 実習期間の計画立案。 事前学習および実習準備。 指導案および教材作成。 授業記録作成。 授業参観記録作成。 講話記録作成。 実習記録（日々）記入。 実習終了後のレポート作成。	1

授業計画

第１回	○実習校の実情や実習期間中の行事等を考慮しながら、以下の事項について見学・参加･実施を行う。（一期﨑直美、木村政伸） １．学校教育の概要（学校教育目標・学校経営・教育課程含む） ２．学校組織活動 ３．学級経営（経営方針、組織、環境、事務、家庭との連絡等） ４．生徒理解・生徒指導（日常生活、学校行事等） ５．学習指導（授業観察・授業設計と授業展開及びその評価等） ６．学内実習指導 ７．看護臨地実習における指導 ８．進路指導 ９．教育者としての資質向上と自己研鑽 １０．その他
テキスト	文部科学省学習指導要領。 これまでに履修した教職科目及び専門科目等の講義で使用した教科書等。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	実習校で使用される教科書，副教材等の資料。 図書館の看護に関する雑誌・図書。
課題に対するフィードバックの方法	実習終了後、面談を実施します。
学生へのメッセージ・コメント	これまでに履修した教職課程及び看護課程の知識・技術がベースになります。授業を教えるためには，教材研究が重要になります。図書を利用したり、信頼性の高いホームページを活用したりして準備を積極的に進めてください。また、新しい正確な知識に基づいて授業を展開できるよう、積極的に教員に相談してください。 教職課程の実習は、最初で最後の実習になります。教員としての倫理観をもち、生徒、教職員、保護者に関わりましょう。また、教職員や保護者と連携できるように心がけましょう。教職課程の既習事項を復習するだけでなく、日頃から、新聞やニュースで最新の教育時事についても理解し実習に臨んでください。